

市民参加型まちづくり1%システム（令和6年度1次募集） 審査結果 【一般部門】

事業 番号	新規 継続	団体名	事業名	事業内容	補助金申請額 (円)	採点結果		採択の可否 採択…○ 不採択…×	採択金額 (円)	委員からの主な意見
						合計得点 (平均)	基準に満たない 審査項目			
1	継続	弘前縄文の会	「第3回 世界文化遺産 大森勝山遺跡周知事業」	世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の一つである大森勝山遺跡などの価値について市民に再認識してもらい、地域・観光資源としての活用に結びつけていくため、遺跡の価値について学習する講座や、ワークショップを開催する。また、子ども達に縄文人やその文化を正しく理解するための場を提供する。	272,000	64.3	⑩市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	×		・非常に地道に活動を継続されているところは評価できるし、重要な活動であると思うが、申請書やプレゼンの中では、事業の成果を分かりやすく伝えていただきたい。 ・大森勝山遺跡を実際に見たことがない人が、いきなり外ヶ浜に行っても、大森勝山遺跡の必要性を感じることは難しいと思う。大森勝山遺跡を市の財産の一つとして、もっと活用していかうという流れが生まれたい、観光としての必要性を感じる人が増えるような内容であれば、市外への見学会の意味が感じられてくると思う。 ・補助金の性質上、市民や弘前市への還元を考えなければならぬので、市外への見学会については、例えば1日目に市外に見に行った人が、2日目にそれについて学び・考えるという風に、プログラム化して行う必要があるのではないか。
2	継続	弘前歩こう会	「第13回 津軽岩木スカイラインを歩いてみよう会」	弘前市及び岩木山の魅力を全国に発信することと、市民の健康増進と親睦交流を図ることを目的に、「津軽岩木スカイライン」をゆっくりと自分のペースで歩く事業を実施する。	500,000	69.5	—	○	500,000	
3	継続	弘前市仲町地区伝統的建造物群保存会	第4回 武家屋敷の町並み周知事業～武家屋敷で楽しもう～	国の文化財に選定されている「仲町地区」を知らない弘前市民や県内外からの観光客にも来ていただき、弘前市の観光振興につなげることを目的に、街歩き講座や生垣・黒板塀の保存技法の講習会、さむらいフェアなど、武家屋敷を活用した様々な楽しみ方を提供するイベントを実施する。	263,000	68.8	—	○	263,000	
4	継続	西部仲町自主防災会	防災・地域づくり「第7回 西部仲町 自主防災会 防災訓練事業」	有事の際に、地域住民が自助・共助のもと、迅速に対応できるよう訓練することを目的とし、近隣町会を含めた町会住民を対象とした「防災訓練」を実施する。避難場所の確認を行うほか、消防署協力による災害講話や消火器の使用訓練、炊き出し訓練等を行う。	32,000	80.5	—	○	32,000	
5	継続	石川町会	大仏公園あじさいまつり	大仏公園の来園者が気持ちよくあじさいを観覧できるよう実施してきた園内の見回り・ゴミ拾いに加えて、新たなあじさいの植樹や、あじさいまつり期間中に特別イベント、期間イベントを実施する。あじさいまつりをきっかけに、多くの市民の皆さんに大仏公園に来ていただくことで、大仏公園を中心とした地域のにぎわいをつくる。	495,000	87.1	—	○	495,000	
6	新規	富田清水町会	富田清水町会創立70周年記念誌発行事業	町会創立70周年の節目にあたり、町会のこれまでの歴史や活動、青年会のねぶた運行事業などをまとめて記念誌を作成する。また自主防災組織の防災計画や各種規約等も一体的にまとめ、次世代の町会の担い手に継承し、町会の発展とさらなる活性化を図る。	370,000	78.9	—	○	370,000	
7	継続	特定非営利活動法人 ひろさきレクリエーション協会	楽しいレクゲームやスポーツ鬼ごっこを体験しよう/スポーツ鬼ごっこ交流大会2024冬の陣	地域の子ども同士で体を動かし楽しく遊ぶ機会を作るため、スポーツ鬼ごっこやレクスポーツの体験会を市内3か所で行う。また、スポーツ鬼ごっこ交流大会を開催し、遊びを通じた他地区の子どもとの交流の機会を創出する。	276,000	72.2	—	○	276,000	
9	継続	子育て支援サークル ママーズクラブ	子育て・親育ちを楽しむ「運動遊び」と「ママの心とからだのメンテナンス」	子どもの運動の機会と、養育する親の情報交換の場として活用してもらうことを目的に、親子で定期的に遊んだり、小学生の子どもたちが運動できる機会を提供する。また、お母さんのリフレッシュのための教室も行う。	136,000	69.2	—	○	136,000	
10	継続	社会福祉法人 千年会	「みんなの食堂」おいでえーる	市民を対象に、安心してつながれる「共食の場」を提供し、栄養バランスのとれた温かい食事の他、健康相談や栄養講座等、「食育」についても考える「みんなの食堂」を実施する。また食堂の運営を通して、地域の人が地域で活躍できるシステム作りを目指す。	436,000	91.7	—	○	436,000	
11	継続	乳井町おこし協会	乳井区域内放棄地の環境整備と美化活動	乳井町会内で放棄され崩壊寸前だった遺跡である茶臼館の沿道改修や、ホテルが集まるため池の泥上げ、小径の整備を進める。また、地域住民の参加を図りながら、茶臼館からの絶景を見る会やホテルの観賞会、歴史を語る会を実施し、地域の良さを再認識してもらう。	310,000	92.2	—	○	310,000	

市民参加型まちづくり1%システム（令和6年度1次募集） 審査結果 【一般部門】

事業 番号	新規 継続	団体名	事業名	事業内容	補助金申請額 (円)	採点結果		採択の可否 採択…○ 不採択…×	採択金額 (円)	委員からの主な意見
						合計得点 (平均)	基準に満たない 審査項目			
12	継続	弘前桜の園音楽協会	第25回未来コンサート（第22回弘前桜の園作曲コンクール含む）	音楽分野における若い才能の発見と、演奏活動及び創作活動を支援するために、「弘前桜の園作曲コンクール」と「未来コンサート」を開催する。コンサートでは、弘前市を中心とした若手演奏家によるジョイントリサイタルと、作曲コンクール全国1位の作曲家による演奏を行い、上質な音楽を鑑賞する機会を提供し、同年代の作品や一般の部の複雑な現代作品に触れることで、音楽家としての成長につながる機会を創出する。	500,000	67.7	—	○	500,000	
13	継続	Sott Sott	Sott Sottの居場所	働くことに悩んでいる、また自宅にこもりがちな方に対し、自宅ではなく、職場や学校でもない第3の居場所で、自分を見つめ直したり、他者と知り合い交流することのできる機会を提供する。	327,000	83.0	—	○	327,000	
14	継続	アートワールドひろさき	赤ちゃんも！音楽ファンも！みんなのコンサート & 楽音工房	小さなお子さんや赤ちゃん連れの方でも、気軽に来場できるようなコンサートを開催し、子育てステージでも、クラシック音楽や日本の伝統音楽に触れる機会を創出する。また、児童館に向き、曲のもつ歴史や背景に触れながら、一緒に歌ったり演奏したりなどを通して、子どもたちがクラシック音楽を楽しみと思えるきっかけづくりを行う。	272,000	81.5	—	○	272,000	
15	継続	アートワールドひろさき	poco a poco アートのたまご ワークショップと作品展	美術のおもしろさや奥深さを知ってもらい、生活の中に芸術を取り入れてもらうことを目的に、子どもの年齢に合わせて様々なワークショップを開催する。	500,000	84.5	—	○	500,000	
16	継続	こどもの居場所 あさひ寺子屋	こどもの居場所 あさひ寺子屋	朝陽地区の子どもたちにとっての第二、第三の居場所となることを目的に、体験型の学びや、みんなで宿題を一緒におこなったり、ごはんを食べたり、遊ぶ時間を提供する。地域の人々との交流や大学生との交流も図ることで、地域の結びつきも深めていく。	57,000	86.8	—	○	57,000	
17	継続	弘前大学 丹波研究室	さくらまつり及びりんご花まつり運行バスロケーション発信事業	さくらまつりからりんご花まつりまでの期間を通して、バスに発信機を取付けて、リアルタイムの運行情報を発信する。バス利用のストレスが軽減されることで、公共交通機関の利用を促進し、公園周辺のアクセス改善と渋滞緩和の実現を目指す。	492,000	82.2	—	○	492,000	
18	新規	弘前保護猫活動連絡協議会	小さな命を守ろう ニャンちゃん譲渡会	地域猫による環境問題が取りざたされているなか、市民に保護猫活動の理解を深めてもらい、動物と暮らし、命を大切にすること、殺処分ゼロを目指すことを目的に、猫の譲渡会を通して啓発活動を行う。参加者にチラシを配布し、ペットの正しい飼い方や命の大切を訴えていく。	186,000	79.5	—	○	186,000	
19	継続	津軽カタリスト	太宰治まなびの家 ドラマリーディング定期公演 事業	「弘前は太宰治研究の街である」ことを広くPRし、世間に浸透させ、弘前に新しい価値を付帯することを目的に、太宰治の作品をアレンジして、ドラマリーディング形式で年4回、定期公演を行う。	83,000	77.2	—	○	83,000	
20	継続	特定非営利活動法人 スポネット弘前	すべての子どもたちにスポーツする機会を 児童のスポーツ活動支援事業	郊外の地区で部活動の選択が少ない子ども達に継続してスポーツをする機会を提供するため、河西地区の小中学生を対象に、学校に出向き様々なスポーツ教室を実施する。また、学校関係者や保護者、地域関係者が集まり、今後の地域のスポーツ環境の仕組みを考える懇談会も実施する。	289,000	93.5	—	○	289,000	
21	継続	NPO法人 弘前Jスポーツプロジェクト	第4回 弘前さくら夢project～小野伸二 サッカー教室	小野伸二氏をはじめとする、世界で活躍したプロサッカー選手を招致し、小学生対象のサッカー教室を開催する。プロのサッカー選手から直接指導を受けることで、子どもたちの夢を育むとともに、未来へ向かって成長することの楽しさを伝える。今年度は屋外のグラウンドでの開催とし、参加人数の枠も広げることで、より多くの子どもたちにプロと接する機会を提供する。	500,000	82.2	—	○	500,000	
22	継続	津軽笛地域づくり実行委員会	第九回全日本横笛コンクールおよび弘前ねぶたまつりPR事業	弘前の伝統文化であるねぶた祭りや、ねぶた囃子が全国的に見ると素晴らしいものであることを多くの世代に気づいてもらうため、全国横笛コンクールを公開で実施する。課題曲を「ねぶた囃子」にすることで、全国の笛奏者に対してねぶた祭りを知るきっかけを作る。また、コンクール参加者にはねぶた祭りへ参加してもらい、ねぶた祭りを盛り上げていく。	205,000	79.8	—	○	205,000	
23	継続	久渡寺で応挙の幽霊実行委員会	久渡寺で応挙の幽霊5	久渡寺が所蔵する円山応挙が描いたとされる幽霊画を、落語の演目「応挙の幽霊」を切り口として全国に広く伝える。また、弘前に伝わる貴重な芸術作品について考える機会を提供し、市民の「芸術とまちづくり」への関心を高める。	191,000	72.8	—	○	191,000	

市民参加型まちづくり1%システム（令和6年度1次募集） 審査結果 【一般部門】

事業番号	新規 継続	団体名	事業名	事業内容	補助金申請額 (円)	採点結果		採択の可否 採択…○ 不採択…×	採択金額 (円)	委員からの主な意見
						合計得点 (平均)	基準に満たない 審査項目			
24	継続	大石武学流庭園調査研究会	「第2回 大石武学流庭園めぐり」及び「大石武学流庭園基礎講座」	日本国内で江戸時代末期から津軽地方にだけ築庭され、国指定文化財にもなっている「大石武学流庭園」を巡るバス講座を開催する。多くの市民に知ってもらうことで、歴史ある庭園流派を次世代に引き継いでいくことができ、将来的には、観光資源の一つにつなげていく。	97,000	56.9	—	×	—	<ul style="list-style-type: none"> 皆さんの大石武学流庭園に対する愛を強く感じるし、大石武学流の庭園のことを大切に保存していきたいという気持ちにも共感するが、この事業のプロセスをしっかりと示してもらえると、企画がどの段階であるのかが分かって、この事業についての話ができるようになる。 市内での活動を前提としている中で、市外の庭園を見て、それをどう活動に活かしていくのか、それが弘前市にどう還元されていくのか、というところがストレートに伝わってこない。大事な活動だからこそ、団体の中で、事業を見つめ直し、きちんと整理して、計画を立てる必要があると思う。 この事業は、「観光振興」と「庭園の保存」の2つに事業を分け、整理して進めていくとうまくいくのではないと思う。観光の道筋を立てるとすれば、団体だけで取り組もうとしても、なかなか活動の幅が広がらないと思うので、外部の力が必要になってくるし、庭園の保存というところでは、市民に対して、保存、継承、周知について、どう伝えていくかを考え、整理する必要があると思う。
25	新規	学生団体@ほくらしnext	弘前5大学サークルガイド	弘前の学生の魅力的な活動をもっと多くの人に知ってもらうことや、地域と学生団体・学生団体同士の新たなつながりを生み出すことを目的とし、5大学の学生団体の活動情報を掲載するWebサイトを開設する。また、Webサイトの認知を広めるための「開設キャンペーン」を実施する。	185,000	76.8	—	○	185,000	
26	新規	学生団体 Magnify HIROSAKI	弘前のカフェ・喫茶店を広くもっと使ってもらおう広報活動	希望する店舗に取材を行い、「勉強や仕事、読書に利用して良いか」、「何時間滞在可能か」など、各店舗の情報をまとめたフリーペーパーを作成するとともに、弘前経済新聞のサイト上でも情報を紹介することで、弘前のカフェ・喫茶店の利用促進や、利用客のリテラシーの向上を目指す。	362,000	60.5	—	○	362,000	
27	継続	あっぶるばい（牌）を広める会	カードゲームあっぶるばい（牌）を広めりんご栽培の歴史を伝承する	ルールを覚えると、りんご栽培の歴史について知ることができるカードゲーム「あっぶるばい（牌）」を使用し、小・中・高・大学に出向き出前授業を行う。郷土の歴史、りんご栽培の偉人、多様なりんごの品種について、楽しく遊びながら理解を深めることで、郷土愛の醸成につながる。	149,000	80.2	—	○	149,000	
合計				26事業（新規 4事業 継続 22事業）	7,485,000	—	採択 24 事業 不採択 2 事業		7,116,000	

※スタート部門を活用したことがある場合は、継続事業となります。

※事業番号8番については、申請を取り下げたものです。

審査項目

公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる

市民参加型まちづくり1%システム（令和6年度1次募集） 審査結果 【スタート部門】

事業番号	団体名	事業名	事業内容	補助金申請額(円)	採択の可否 採択…○ 不採択…×	採択金額(円)	委員からの意見・アドバイス
1	弘前誰でも参加できるSSTの会	誰でも参加できるSST講座	SSTとは、ソーシャル・スキルズ・トレーニングの略で、「社会生活スキルトレーニング」と呼ばれる精神科領域における認知行動療法のひとつ。地域の中で対人関係に悩みを持つ学生や社会人、発達障害などで悩んでいる方の支援の一つとしてSSTを地域に定着させ、市民の精神的な健康に貢献することを目的に、誰でも参加できるSST講座を毎月1回開催する。	33,000	○	33,000	<ul style="list-style-type: none"> ・SSTという言葉が一般の方には難しいので、周知する際にはSSTという言葉が前面に出さず、「この講座を受講すれば、こんな効果がある」ということを柔らかく伝える工夫が必要ではないか。 ・色々な立場の人に役に立つ内容だと思うが、自分に関係がある内容なのかが伝わりづらい。例えば「就活で悩んでいる方」「会社や学校で発達障害の方と関わる方」など、各回でターゲットを絞った講座内容とした方が、足を運びやすいのではないか。 ・子どもと接する保育園や幼稚園、特別支援学級の先生方、保護者の方を対象に講座を実施することも効果的ではないか。 ・引きこもりの方の居場所づくりの事業を行っている団体もあるので、そうした団体に対し「SSTでこういうことができます」とアプローチするのも効果的ではないか。
2	弘前市交流センター合同発表会実行委員会	弘前市交流センターサークル合同発表会	高齢者の健康維持・認知症予防・誤嚥性肺炎予防のため、また、元気な日々を過ごしていただくため、市内交流センター等でサークル活動（カラオケ・日本舞踊・剣舞・フラダンス他）を行っている方の親睦も兼ねた合同発表会を開催するもの。	50,000	○	50,000	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでは参加料を集めることで開催ができていた事業であり、参加費と昼食代をそれぞれ集めれば、今後も自己資金での運営が可能な事業だと思う。 ・一般部門での申請も考えているのであれば、これまで実施してきた内容をそのままということではなく、例えばゲストを健康関連の講師に変えて、健康に関する講座を併せて実施するなど、新たな要素も検討していただきたい。 ・この活動を契機に、合同発表会に参加する皆さんの歌やパフォーマンスを外で披露する機会を作ってみるなど、次のステップに繋げていくことができれば、より社会性も出てくるのではないかと思う。
3	みやそのママストレッチ	今ここに！～2024ほぐしのワークからステージへ～	日頃、自分のことは後回しになっている子育て世代や、やりたいことを置いてきてしまったと思っている方に向けて、「ほぐしと表現」のワークショップと発表会を開催し、自分を振り返り、自分の本音に気づく機会を提供する。	50,000	○	50,000	<ul style="list-style-type: none"> ・外に開いて活動を行う場合には、どう呼びかけるかが大事。「今ここに」「ほぐしのワークからステージへ」という表現だと、どういうことを行うものなのかが伝わりづらいので、SNSやフライヤーを作成する際には、参加してほしい方に理解してもらえるようなものにしていただきたい。 ・小さい子どもを育てる母親にとっては、子供を預けて自分の時間を作れるだけでも、嬉しいことだと思うので、フライヤーなどにはぜひ、「安心して子供を預けて自分の時間を楽しめます」というキャッチコピーを入れ、安心して参加できることをPRし、多くの参加者を集めるようにしていただきたい。 ・テネガの駐車場は、だいが会場から遠い場所にあるので、フライヤーには、案内を入れた方がよいと思う。
合計			3事業	133,000	採択 3 事業 不採択 0 事業	133,000	

審査項目

公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる